

- マックスバリュ西日本は、脱炭素社会の実現に向けた動きに対応していくため、省エネルギー・省資源・環境に配慮した事業活動のための投資を実施します。
- 本計画においては、運営するスーパーで使用している冷凍・冷蔵ケースや照明設備を省エネタイプのものへと順次更新します。
- これにより、営業利益を確保しつつエネルギー消費量を削減し、それに伴いCO<sub>2</sub>排出量を削減することにより、各店舗の炭素生産性の向上を図ります。

## <事業適応計画の概要>

### 1. 事業適応計画の実施期間

2022年3月～2024年2月

### 2. 生産性向上目標

炭素生産性を10.9%ポイント向上させる。

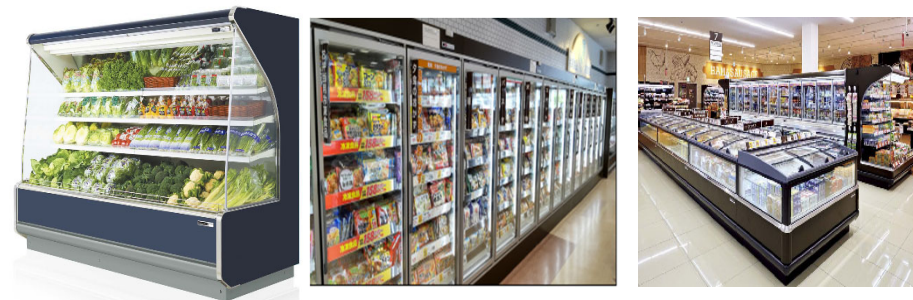
### 3. 前向きな取組の内容

冷凍・冷蔵ケースや照明設備の更新をすることで、エネルギー消費量を削減し、それに伴いCO<sub>2</sub>排出量を削減する。

### 4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

## <冷凍・冷蔵ケース>



## <導入する店舗>

